

# 学習指導案の書き方ガイド

学習指導案書き方ガイドは、小・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編（以下「解説」）を参考に作成しています。  
参考にした解説のページ番号は「解説（小）p〇（中）p〇」と示してあります。

## 第〇学年道徳科学習指導案

日 時 令和 〇年 〇月〇日（〇）  
授業者 教諭 〇〇 〇〇

### ☑ 解説（小）80,81（中）p 78,79

- ・道徳科の学習指導案は、教師が年間指導計画に位置付けられた主題を指導するに当たって、児童生徒や学級の実態に即して、教師自身の創意工夫を生かして作成する具体的な指導計画案のことである。
- ・ねらいを達成するために、児童生徒が何を、どのような順序、方法で指導し、評価し、さらに主題に関連する本時以外の指導にどのように生かすのかなど、学習指導の構想を一定の形式に表現したもの。
- ・形式に特に決まった基準はないが、一般的には主題名、ねらいと教材、主題設定の理由、学習指導過程、その他のような事項が取り上げられている。

## 1 主題名

例) たったひとつの命だから 「D-(19)生命の尊さ」

### ☑ 解説（小）p 73,74,80（中）p 71,78

- ・道徳科の「主題」とは、指導を行うに当たって、何をねらいとし、どのように教材を活用するかを構想する指導のまとまりを示すものであり、「ねらい」とそれを達成するために活用する「教材」によって構成される。
- ・年間指導計画の「主題名」には、ねらいと教材で構成した主題を、授業の内容が概観できるように端的に表したものを記述する。
- ・学習指導案の「主題名」には、原則として、年間指導計画における主題名を記述する。

## 2 ねらいと教材

### (1) ねらい

- ・「～しようとする道徳的心情を育てる。」
- ・「～しようとする道徳的判断力を育てる。」
- ・「～しようとする道徳的実践意欲を育てる。」
- ・「～しようとする道徳的態度を育てる。」

### ☑ ポイント集「ねらいの設定」

- ・道徳性の諸様相のどこに焦点を当てて授業をするのかを記述する。
- ・道徳性の諸様相（道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲、道徳的態度）は一つ一つが独立しているものではなく、関わり合っている。
- ・ねらいは、必ず一つの様相とは限らず、複数の様相を育てることも考えられる。

### (2) 教材名

「〇〇〇〇」 (◆◆◆◆)  
教材名 出典

## 3 主題設定の理由

### ☑ 解説（小）p 80（中）p 78,79

- ・記述に当たっては、児童生徒の肯定的な面やそれを更に伸ばしていこうとする観点からの積極的な捉え方を心掛けて記述する。
- ・抽象的な捉え方をするのではなく、児童生徒の学習場面を予想したり、発達の段階や指導の流れを踏まえたりしながら、より具体的で積極的な教材の生かし方を記述するようにする。

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

解説 (小) p 26-71 (中) p 24-69 ポイント集「内容項目を理解するポイント」

- ・解説「内容項目の指導の観点」の内容項目の概要と指導の要点を理解し、参考にして記述する。
- ・内容項目の中に複数の道徳的価値が含まれている場合は、どの道徳的価値について指導するのかを記述する。
- ・授業のねらいとする道徳的価値と関連する道徳的価値についても記述する。

(2) 児童（生徒）のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

ポイント集「児童生徒の実態把握」「内容項目を理解するポイント」

- ・児童生徒の発達段階を踏まえ、道徳的価値に根差した問題（ねらいとする道徳的価値について、どのようなことが身に付きつつあり、どのようなことが課題として残されているのか）を具体的に把握し、記述する。
- ・児童生徒の実態把握から、道徳性の諸様相のどこに焦点を当てて授業をするのかを記述する。

(3) 使用する教材の特質やそれを生かす具体的な活用方法

解説 (小) p 83 (中) p 82 ポイント集「教材の活用」

- ・教材のあらすじを簡潔に記述する。
- ・教材には、伝記、実話、物語、詩等、多様な形式のものがあり、それらの特質を捉えて記述する。
- ・教材に対する感動を大事にする展開や道徳的価値を実現する上での迷いや葛藤を大切に展開等、教材のどの場面や発言等を取り上げて、ねらいに迫るのかを記述する。

4 学習指導過程

児童(生徒)目線で記述する  
(文末の表現等)

教師目線で記述する  
(文末の表現等)

	学習活動 ○主な発問 (◎中心発問)・予想される反応	指導上の留意点
導 入 ○ 分	1 本時の主題に関わる問題意識を持つ。 (または、教材の内容に興味や関心を持つ等)	<input checked="" type="checkbox"/> 1～5は主な学習活動を記述する
	○ 発問1 ・予想される児童生徒の反応1	<input checked="" type="checkbox"/> ポイント集「導入の工夫」 導入は、本時の主題に関わる問題意識を持たせる、または教材の内容に興味や関心を持たせる発問や活動について記述する。
	2 課題をつかむ。  課題がある場合は、本時の課題を記述する	

<p>展開 ○分</p>	<p>3 登場人物の心情を捉える。</p> <p>○ 発問2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想される児童生徒の反応1</li> <li>・予想される児童生徒の反応2</li> </ul> <p><input checked="" type="checkbox"/> ポイント集「展開の工夫」等</p> <p>指導上の留意点には、指導の工夫（教材の提示、問い返し、学習形態、等）と教師の意図をセットで記述する。</p> <p>例1 ~の心情を捉えさせるために、~をする。</p> <p>例2 ~に気付かせるために、~について考えさせる。等</p> <p>4 ~を通して考える。</p> <p>○ 指示</p> <p>例) ~の場면을役割演技しましょう。</p> <p>A 「 B 「 A 「</p> <p>◎中心発問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想される児童生徒の反応1</li> <li>・予想される児童生徒の反応2</li> </ul>	<p>・~に気付かせるために、問い返しを行う。</p> <p>・〇〇はなぜ、~したと思いますか。</p> <p>・もし、自分だったら~しますか。等</p> <p>・~について考えさせるために、役割演技をさせる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習や話し合いを取り入れる場合、予想される児童生徒の具体的な対話の内容を記述する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 解説 (小) p 84,85 (中) p 83,84 ポイント集「発問づくり」</p> <p>まず、授業のねらいに深く関わる中心発問を考える。次にそれを生かすために、その前後の発問を考え、全体を一体的に捉えると有効な場合が多い。</p>
<p>終末 ○分</p>	<p>5 ~について考える。~について振り返る。</p> <p>○ ~について自分の考えを書きなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想される児童生徒の反応1</li> </ul>	<p><input checked="" type="checkbox"/> ポイント集「終末の工夫」</p> <p>児童生徒が自己の(人間としての)生き方についての考えを深め、納得解を得られるような発問や書く活動等を設定し、記述する。</p>

【評価】

- 解説 (小) p 107-116 (中) p 109-118  
ポイント集「道徳科の評価」「指導要録と通知表における道徳科の評価の違い」
- ・児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取る視点を記述する。
  - ・「できた」「できない」と評価するものではないので、語尾は「~することができたか」ではなく、「~しようとしていたか」や「~に気付いていたか」等の表現にすると良い。
- 例) 「                    」について、                    を通して、                    しようとしていた。  
(道徳的価値) (指導の工夫) に気付いていたか。等

【板書計画】

解説 (小) p 85 (中) p 85 ポイント集「板書の工夫」

- ・思考の流れや順序を示すような順接的な板書ではなく、違いや多様さを対比的、構造的に示す工夫や、中心部分を浮き立たせる工夫などを意識して記述する。

5 他の教育活動との関連

解説 (小) p 89,90 (中) p 88,89 ポイント集「他の教育活動との関連」

- ・年間指導計画や別葉を基に、本時の授業と前後の道徳科の授業との関連や他の教育との関連について記述する。図等を用いる場合もある。

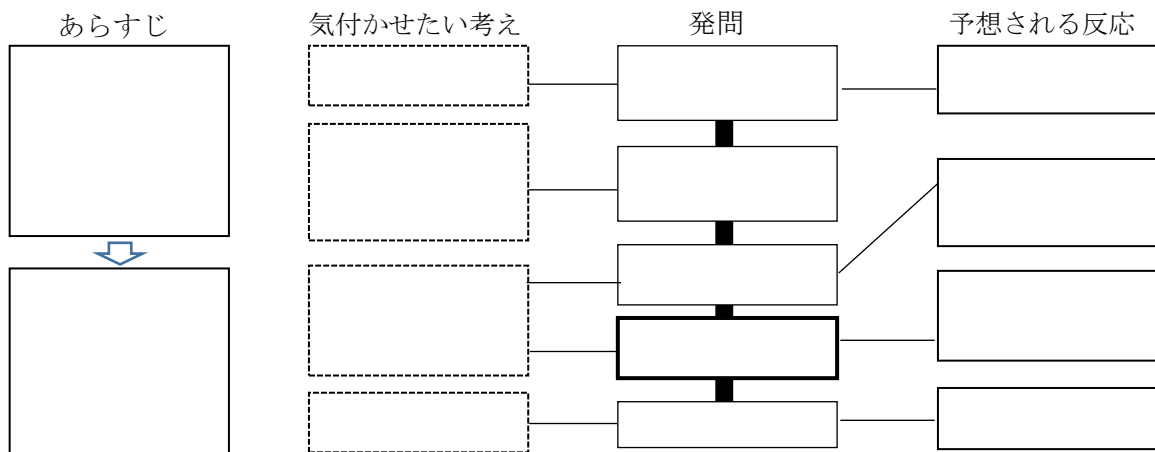
6 補充・深化・統合の視点【 】

解説 (小) p 89,90 (中) p 88,89 ポイント集「他の教育活動との関連」

- ・授業のねらいとする道徳的価値が、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の「補充・深化・統合」のどれに位置付けられるのかについて記述する。

7 教材分析・発問構成

教材のあらすじに従って、気付かせたい考え、発問、予想される児童（生徒）の反応について記述する。



8 準備物

教師：

生徒：